

第7表 調理場における対応等

(1) 食物アレルギーへの対応

平成21年5月1日現在

			除去食で 対応	代替食で 対応	弁当を持 参	自主判断	その他 の対応	特に対応 なし	該当者な し
公立 小 中 学 校	単独調理場 (551校)	学校数	391	141	206	257	11	16	16
		割合 (%)	71.0	25.6	37.4	46.6	2.0	2.9	2.9
	共同調理場 (91施設)	施設数	21	14	31	66	17	16	6
		割合 (%)	23.1	15.4	34.1	72.5	18.7	17.6	6.6
公立特別支援学校 (32校)		学校数	26	25	6	8	0	2	2
		割合 (%)	81.3	78.1	18.8	25.0	0	6.3	6.3
県立夜間定時制高校 (17校)		学校数	2	0	0	7	0	5	3
		割合 (%)	11.8	0	0	41.2	0	29.4	17.6

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している公立小学校・中学校・特別支援学校
県立夜間定時制高校である。
- 2 重複回答のため、合計が100%にならない場合もある。
- 3 親子給食実施校は、親校、子校とも1校ずつ計上した。
- 4 その他の調理場方式(デリバリー方式) 実施校を含む。

(2) 残渣処理の対応

平成21年5月1日現在

			生ゴミ処理機	ゴミ回収業者	養豚業者	その他
公立 小 中 学 校	単独調理場 (551校)	学校数	61	514	7	10
		割合 (%)	11.1	93.3	1.3	1.8
	共同調理場 (91施設)	施設数	8	63	8	21
		割合 (%)	8.8	69.2	8.8	23.1
公立特別支援学校 (32校)		学校数	1	31	0	0
		割合 (%)	3.1	96.9	0	0
県立夜間定時制高校 (17校)		学校数	0	10	0	7
		割合 (%)	0	58.8	0	41.2

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校・特別支援学校、県立特別支援学校・夜間定時制高校である。
- 2 重複回答のため、合計が100%にならない場合もある。
- 3 親子給食実施校は、親校、子校とも1校ずつ計上した。
- 4 その他の調理場方式(デリバリー方式) 実施校を含む。

(3) 使用食器の材質調査

平成21年5月1日現在

材 質	小学校数	割合 (%)	中学校数	割合 (%)	特別支援 学校数	割合 (%)	夜間定時制 高等学校数	割合 (%)
ポリプロピレン	467	55.3	208	54.3	1	3.1	7	41.1
強化磁器	216	25.6	107	27.9	9	28.1	2	11.8
P E N樹脂	105	12.4	46	12.0	4	12.5	2	11.8
アルマイト	57	6.7	6	1.6	0	0.0	0	0.0
ステンレス	41	4.9	24	6.3	1	3.1	1	5.9
メラミン	34	4.0	12	3.1	32	100.0	13	76.5
ポリカーボネート	30	3.6	4	1.0	3	9.4	3	17.6
陶磁器	26	3.1	11	2.9	1		0	0.0
ポリエチレン	5	0.6	1	0.3	0	0.0	0	0.0
強化耐熱ガラス	0	0.0	0	0.0	3	9.4	2	11.8
木	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	11.8
その他	40	4.7	21	5.5	10	31.3	11	64.7

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している公立小・中・特別支援・夜間定時制高等学校である。
- 2 重複回答可である。
- 3 盆は含まず、パレット皿を含めて調査をしている。
- 4 その他は、P B T樹脂、ダフレン等である。
- 5 強化耐熱ガラスには、コレールを含む。